



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 10 号

発行日

平成 26 年 6 月 30 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

編集委員会



TANI

国宝「土偶」(仮面の女神)

縄文時代後期・中ッ原遺跡

高さ 34 cm 重さ 2.7 kg

国宝「土偶」(縄文のビーナス)

縄文時代中期・棚畑遺跡

高さ 27 cm 重さ 2.1 kg

挿絵: 谷沢信憲

小さく縁取られた顔、横に広げた腕、妊娠を表す腹部、安定感ある腰と尻、太い足でしっかり立つ、愛らしく表情豊かな姿が特徴的な国宝「土偶」(縄文のビーナス)。

大地にどっしりと立つ太くて大きな足、張り出した腹部、逆三角形の仮面を被った姿が大いきな特徴で、神秘的な雰囲気醸し出している国宝「土偶」(仮面の女神)。

この2体の土偶は、茅野市をはじめ中部山岳地帯の豊かな自然を背景に繁栄した縄文文化を象徴する私たちの「宝物」です。

百聞は一見に如かず、土偶と対面し、遙か縄文時代に思いを馳せてみませんか。

平成 26 年度定時総会が開催される

平成 26 年度定時総会が平成 26 年 5 月 19 日(月)午後 3 時 30 分より諏訪市「ベルファイン」で行われた。出席会員 38 名・委任状 25 名、来賓に顧問・山田勝文諏訪市長、顧問・矢崎和広前長野県教育委員長、後藤茂之衆議院厚生労働委員長、諏訪市・茅野市・下諏訪町の教育委員長が出席した。



第 1 部 [総会]

- (1) 平成 25 年度事業報告、決算報告が各担当部会長から説明が行われた。
- (2) 会則の一部改正が行われた。
- (3) 会長の選任が行われた。

新会長に会長代行の牛山 俊が選任された。

- (4) 平成 26 年度事業計画、予算案が各担当部長から説明が行われた。
上記、それぞれが全会一致で承認された。

第 2 部 [公開講座]



講師に諏訪湖博物館・赤彦記念館の宮坂 徹館長を招いて「下諏訪の歴史的風致とまちづくり」と題する講演が行われた。

下諏訪町は、諏訪大社の下社を始めとして多くの歴史的な建造物と、それに伴う祭礼や年中行事が古来から数多く行われている。それらを保存、継承していくだけではなく、常に情報を発信し活用していかなければならない。その一つとして「伏見屋邸」での例をあげながら、下諏訪町に訪れた観光客が少しでも長く居てもらえるよう「おもてなし活動」の一端が紹介された。

「暮らしてきた人々の歴史や文化の息づかいが肌で感じられる街。そうした風情を消さない街にしていくことが大切であり、それはそのまま私たちの住みやすい街づくりに繋がっていく」と語った。

この事業は文科省・農水省・国土交通省の三省の支援を受けて行っている。

下諏訪町のみならず、他の市町村に通じるこれからの街づくりのあるべき姿を示唆しており、大変有意義な講演であった。

第 3 部 [懇親会]

会員、来賓との交流がなされ、平成 26 年度事業活動への取り組みが確認された。

最後にユネスコの歌を全員で斉唱し、盛会裏に終了した。



＝会長挨拶＝

牛山 俊



諏訪ユネスコ協会は、平成23年4月に発足以来4年目を迎えることになりました。昨年6月に当協会を立ち上げ推進してまいりました原会長さんがお亡くなりになりました。本当に残念でなりません。

その後役員一同で原会長さんのご意志を継ぎ、会員の皆さんの御指導、ご協力によりまして勉強会、諏訪湖の美化作業、書き損じハガキ回収運動等の事業を推進してまいりました。

特に「ユネスコ寺子屋運動」の書き損じハガキ回収運動につきましては、諏訪地区6市町村の教育委員会のご支援により、全小中学校の生徒さんに取り組んでいただき大きな成果を得ることが出来ました。関係の皆様へ感謝申し上げます。

この度の総会におきまして、原会長さんの後任として、私が職務を執行することとなりました。

ユネスコ憲章にある「心の中に平和のとりでを築く」の精神を基本にして、当協会の一層の発展のため頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

中部東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 鎌倉報告

「文化の多様性と平和の文化未来世代に残す地球に向けて」をテーマに3月8日～9日鎌倉生涯学習センターにて開催された。

大会初日は、開会式に続き特別講演講師にユネスコ親善大使千 玄室氏を迎え「未来のために平和を考えよう」と題した講演が行われた。

2日目は中部東ブロック代表者会議、日本ユネスコ協会連盟教育文化事業部、日本ユネスコ国内委員会よりの報告があり、引き続いて「地域ユネスコ協会における青少年対象事業」について研究事例報告が行われた。



発表1. 鎌倉ユネスコ協会、横浜国立大学附属中学校生徒により①海外生活体験による国際理解と協力。②科学活動による環境保護と文化について報告がされた。

発表2. 沼津ユネスコ協会会長より「ユネスコサマースクール」について報告された。

発表3. 甲府ユネスコ協会副会長より「近隣ユネスコ協会との連携」をテーマに山梨県地区での連携について報告された。

長野ユネスコ協会理事より長野県地区での連携について報告された。

発表4. 厚木ユネスコ協会より「カンボジア・コーアクションツアー」について報告された。有意義な2日間の研究大会が盛会裏に終了した。

特別記念講演「未来のために平和を考えよう」

ブロック・ユネスコ活動研究大会
文化の多様性と平和の文化—未来世代に残す地球に向けて



講師：ユネスコ親善大使・千 玄室氏

【講演要旨】

ユネスコが 1946 年に国際連合の中の組織として生まれた。現在「教育・科学・文化」など国によって多様化し、格差が広がりつつあり、この格差を縮めていかななくてはいけない。

平和のために、ユネスコ憲章に基づいて知的財産を大切にしていって相続していくためのユネスコ活動が始まった。

当時ユネスコ大使の平山郁夫画伯と敦煌に同行させていただいたおり「北朝鮮の平壤近くにある古い遺跡を世界遺産にして保存する為に力を貸していただきたい」というお話があり協力を約束した。

その後、平山先生がお亡くなりになり、近藤文化庁長官からユネスコ親善大使を依頼され、お引き受けした。

ユネスコ本来の職務は教育・文化の背後にある各国の歴史的意義であるが、最近では世界遺産の登録に重点が置かれてしまっている。

近藤長官は石見銀山、平泉、特に富士山の世界遺産登録に尽力され、三保の松原については大変にご苦労された。加えて、食の文化として日本の和食の味が登録された。

文化の面について、大使会議の中でいろいろ話し合われた。

本来ユネスコがやっていかなければならないのは「教育・文化・科学」の多様性を各国がそれぞれ交換しあい、内容的に統一された見解を各国が持つことが重要である。

今度のユネスコ親善大使会議では戦争をなくす、内乱をなくすことが話される。これは国連がその任を果たさなければいけないが常任理事国の強権発動の制度がある。日本の理事国入りには中国、韓国が反対している。

私は韓国へ行き茶道を通して関係改善に努めている。

中国では「いん茶」、韓国では「せん茶」それが日本に伝わり儒教と仏教がバックになり「茶道」となり、それを完成させたのが千利休である。

利休は「和」「敬」「清」「寂」の4文字を教え、安楽の世界を作った。ユネスコ憲章の中に「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから・・・」とうたわれているが全くその通りだと思う。人間は皆悪人である。だから生きている間に少しでも善行を積み「積善あれば余慶あり」である。「心の施しが大事。親切、笑顔も大切、みんな一緒だよ」そんな心があればどんなことでも克服できる。

親鸞さん、法然さんもそのことを教えてくれた『諸悪莫作、衆善奉行、自浄

其意、是諸仏教』「諸々の悪しきことをせず、諸々の良いことを実行しなさい。そして、自ずからその意（こころ）を浄めていくこと」と。

私は 65 ヶ国を訪れ『一椀のお茶』を差し上げ和敬静寂の気持ちで平和を願い実践しているところである。

『一椀のお茶』は世界に広がる多様性の文化であると思う。

私は今時大戦の生き残りの一人です。私たちの同期が学徒出陣により陸軍、海軍に行った。

「おかあさん、先立つことを許してください、お母さん、子どもたち、みんな幸せに、私は死んでいきます。皆さん平和を祈ります。」と特攻隊の書き残した書が鹿児島県、知覧の記念館にある。

私は出撃命令の下った日『一椀のお茶』をたててみんなに「おーい、もうなあ、このお茶終わりやな」と言った時、京都大学の教授の少将が「千なあ、俺生きて帰って来たら、お前の茶室で茶飲ましてくれよ」と言われた時、ピシッとした。

私たちは口先だけの平和でなく、まず人間一人一人が自分の朝起きるから、寝るまでの一日の中で少しでも平和に近い行動をし、志しを持つと言う事自体が戦争を防止する一番大きな問題だと思う。

自分の心を省みて、そして自分の足元から戦争を起こさないという信念を持ってやってこそ、私は本当の生き方があるのではないかと思います。

私はユネスコという組織がそういう意味で本当に大切な組織であるからこそ、平和というものを私たちが将来、今の若い人たちにどのように伝えていけばよいか。まず行動で示すことであると私はお願い申し上げます。

中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 鎌倉大会に参加して

理事 清水 勝喜

＝シンポジウム、講演から＝

アイルランド生まれピーター J マクミラン氏の日本古典文学の知識深さに感銘した。

日本は西洋（キリスト教に基づく完璧性、永遠性を求める）に無い文化が、自然や目に見えないものを大切にする美的感覚文化を持っている。

「和を持って尊しとす」とする文化の基調がある。ここから世界へ貢献できるのではないか。

千 玄室氏の講演、ユネスコ憲章「戦争は人の心の中にある」全くそうで戦争でなくても憎しみ恨みはどんな人間にもある。人間は悪人であり善人はいるはずがない、だから生きている間に少しでも善行を積もう。

「衆善奉行、諸悪莫作、自浄其意、是諸仏教」が釈迦の教えにある。

口先だけで平和を唱えるだけでなく生き方の中で行動をし、次の世代へ伝えて行くことが大事である。

諏訪ユネスコも次の若い世代へ伝えて行くには如何にするかが課題である。

また、マクミラン氏が懇親会の際に、牛山会長代行との話しのなかで諏訪の御柱に関心を持っており、次期御柱が楽しみの方であった。

理事会報告

第 32 回理事会 平成 26 年 2 月 27 日(木) 午後 6 時 30 分 於 ; 事務局

1. 寺子屋部会「書き損じハガキ回収キャンペーン」について
 - ・報道関係より取材依頼あり、対応については、各学校別数値ではなく、各地区別の数値を提示する。
2. 平成 26 年度定時総会について
 - ・再度詳細について再確認を行う。
3. 「中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 鎌倉」について
 - ・詳細について再確認
4. その他
 - ・新入会員：北沢 千登勢（茅野地区）承認

第 33 回理事会 平成 26 年 3 月 24 日(月) 午後 6 時 30 分 於 ; 事務局

1. 寺子屋部会について
平成 25 年度「書き損じハガキ回収キャンペーン」の最終結果報告
小・中学校 46 校分 9,977 枚 445,566 円
その他 775 枚 34,875 円
合 計 10,752 枚 480,441 円
2. 「諏訪ユネスコ通信」について
第 9 号発行、会員、報道機関、県下ユネスコ協会に配布。
3. 「中部東ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 鎌倉」の参加報告
矢崎理事より千 玄室氏による特別講演の講演録をまとめて配布。
4. 平成 26 年度定時総会について
 - ・日時は、5 月平日の夕方からがよいのではないかとの意見。
 - ・総会資料の用意の為、各部長は平成 25 年度事業報告、平成 26 年度事業計画をまとめること。
5. その他
 - ・新入会員：樋口 敏之（茅野地区）承認

第 34 回 理事会 平成 26 年 4 月 16 日(水) 午後 6 時 30 分 於 ; 事務局

1. 平成 26 年度定時総会について
 - (1) 平成 25 年度 事業・決算報告書について
 - (2) 平成 25 年度会計監査について
 - (3) 平成 26 年度 事業計画・予算について
 - ・上記事項について、各担当役員より発表した。
 - (4) 総会開催通知について
 - ・往復ハガキを送付し、総会・懇親会の出欠を明確にする。
2. 会員入会について
3. その他
 - ・新入会員：笠原 米子（諏訪地区）承認

第35回 理事会 平成26年5月7日(水) 午後6時30分 於；事務局

1. 平成26年度定時総会について

(1) 総会資料について.....会員全体に配布。100部印刷

(2) 会員名簿について.....会員数の最終確認。

(3) 総会出席について

総会出席者.....会員38名 来賓5名 合計43名

懇親会.....会員29名 来賓2名 合計31名

(4) 総会の準備品等について

・協会側の準備品・会場側の準備品の確認を行う。

(5) 総会の役割分担について

・式次第にそってそれぞれの役割分担を行った。

(6) その他.....来賓者の確認。

2. その他.....総会資料のコピーの確認。

第36回 理事会 平成26年5月13日(火) 午後6時 於；「ベルファイン」

1. 平成26年度定時総会について

(1) 総会会場確認

(2) 会場での準備品等の確認

・会場にて上記の確認を行った。

(3) 総会の役割分担について.....最終確認を行った。

(4) その他.....来賓の最終確認を行った。

2. その他

第37回 理事会 平成26年6月9日(月) 午後6時30分 於；事務局

1. 平成26年度定時総会について

(1) 総会の総括について

・全体に今回の形式で良かったのではないかと。

・講演、来賓の祝辞等大変良い話がお聞きできて良かった。

(2) 欠席者への総会資料の送付について

・会費納入の前に、担当者が配布する。

(3) 総会経費の報告

・本会計と別の為、事務局次長より報告された。

(4) その他

2. 各部部长及び部員について

・各部の部長・副部長の移動に伴い新体制を整えた。

地域遺産部会 部長 清水 勝喜 副部長 北原 國男

寺子屋部会 部長 高林 徳枝 副部長 今井 愛郎・矢崎 靖雄

地域実践部会 部長 濱 三千治 副部長 金子 勝弘

広報部会 部長 濱 善夫 副部長 濱 勝也

・部員については今後、検討する。

3. 当面の事業について

地域遺産部会

- ・岡谷の蚕糸博物館が8月1日に開館する為、見学会を計画する。
- ・富岡製糸博物館の見学。
- ・講演会を11月頃に行えるよう検討していく。

寺子屋部会

- ・例年通り「書損じハガキ回収キャンペーン」を行うが、それに伴い茅野市内の2校が勉強会を行いたい旨の申し出があった。諏訪ユネスコで協力実施していくことを決めた。

地域実践部会

- ・第1回アダプトプログラムの実施は7月3日。

広報部会

- ・広報第10号の発行は6月30日。

4. 会費の納入事務について

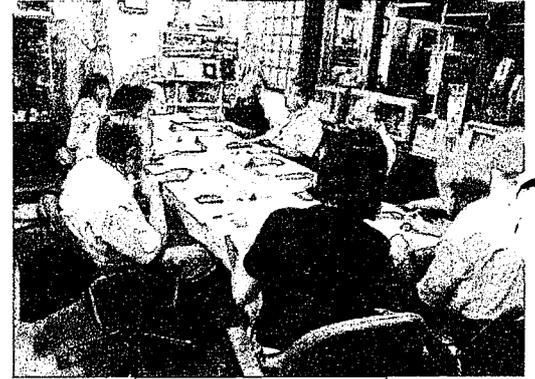
- ・会費納入期限は7月末日迄とする（依頼書と振込用紙を同封し送付）
- ・会計監査を中間の10月にも行う。

5. 新入会員について

- ・新入会員：後藤 春美（諏訪地区）承認

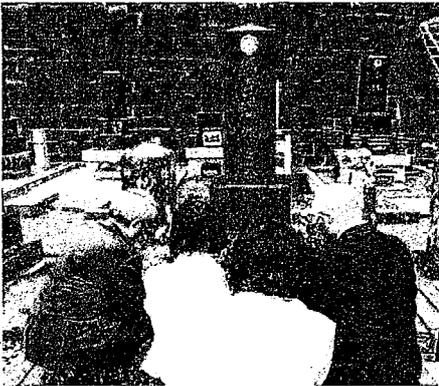
6. その他

明



理事会風景

前会長・原 清氏を偲ぶ



諏訪ユネスコ協会の発足に熱意をもって尽力し、これからの活躍がおおいに期待された矢先に逝去された、原前会長の一周年忌をむかえた6月5日新三役が諏訪市湖南にある原家墓地に墓参した。

墓前に原氏の意志を継いで協会のさらなる発展に努める事を誓い、安らかに眠りくださいと祈った。

事業予定

諏訪湖アダプトプログラム（諏訪湖浄化運動）諏訪市石彫公園一帯

第1回 日時：7月3日（木）9:00～10:00

第2回 日時：8月28日（木）9:00～10:00

第3回 日時：10月18日（土）9:00～10:00

ご都合付けて会員皆さんの参加をお願いします。